

# 算数科における 確かな問題解決型学習の創造 ～算数のさらなる学力向上を目指して～

平成27年8月に出席した「教育課程企画特別部会における論点整理」において、育成すべき資質・能力と、学習指導要領の構造化の方向性について述べられました。新教育課程のキーワードの1つである「アクティブ・ラーニング」(課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学び)についてもその意義が述べられ、知識の質や量の改善だけでなく、「どのように学ぶか」という学びの質や深まりについても言及しております。つまり、確かな問題解決型の学習を通して学んでいくことが求められていきます。

そのような中、算数教育界を牽引され、ご活躍されていますお二人の講師の先生をお迎えし、算数科における確かな問題解決型学習についてお話させていただきます。

第二部ではワークショップも予定しておりますので、珠玉の教材内容について具体的に作業を通して学んでいただけます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

公益財団法人 中央教育研究所

**日時** 2016年2月7日(日)

受付開始 12:30  
開 会 13:00

**会場** 相模原教育会館 3F 大会議室  
相模原市中央区富士見 6-6-13

**参加費** 1,000円(資料代含む)

**申し込み・問い合わせ先**

第9回教育シンポジウム in 相模原 事務局  
〒114-0004 東京都北区堀船2-17-1 TEL 03-5390-7488

主催/公益財団法人 中央教育研究所・相模原教育を創る会  
後援/相模原市教育委員会・東京教育研究所

\*当日、悪天候の際はこちらまでお問い合わせください。080-6817-8179(当日のみ)



■下記、申し込み用紙をFAXでお送り下さい。

**FAX 03-5390-6017**

第9回 教育シンポジウム in 相模原 参加申込書

|      |  |          |           |
|------|--|----------|-----------|
| ふりがな |  |          |           |
| ご氏名  | ご勤務先<br>( )市・町・村 ( )学校・教育委員会<br>ご役職<br>校長・教頭・総括教諭・教諭・その他 ( ) |          |           |
| ご住所  | (ご勤務先・ご自宅)<br>〒 -<br>都 道<br>府 県                              | 電話 ( ) - | FAX ( ) - |

\*ご記入いただきました個人情報は、本シンポジウムの企画・運営と次回の案内のみ使用いたします。

# プログラム

算数科における確かな問題解決型学習の創造  
～算数のさらなる学力向上を目指して～

## 開会行事

13:00～13:10

## 第1部 講演

13:10～14:40

### 「算数科で仕組む問題解決の授業 —『めあて』と『まとめ』は何のために?—」

清水 美憲 (筑波大学 教授)

#### ■清水 美憲 先生

長野県生まれ。筑波大学第一群学自然学類(数学主専攻)卒業後、東京学芸大学教育学部助手、同助教授、インディアナ大学客員研究員などを経て、現職。研究分野は、数学の学力評価と授業の国際比較研究などで、文部科学省の「全国学力・学習状況調査の分析・活用の推進に関する専門家検討会議」や国立教育政策研究所の「経済協力開発機構・生徒の学習達成度調査(OECD-PISA2012)国内専門委員会」委員なども務める。著書には、「目でみる算数の図鑑」(東京書籍)、「『数学的に考える力』を育てる授業づくり」(共著 東洋館出版社)他多数。



## 第2部 講演・ワークショップ

14:50～16:20

### 「『できた!』『わかった!』子供が夢中になる算数授業づくり」

長谷 豊 (目黒区立菅刈小学校 校長)

#### ■長谷 豊 先生

東京学芸大学学校教育学科卒業。東京都内の小学校を歴任し、その間、東京都算数科研究員や東京都算数科開発委員も務める。東京都算数教育研究会や新算数教育研究会の理事も務める。

長年の小学校での経験を活かした実践講演が好評で、東京都だけでなく神奈川県やその他の県でも多くの講師を務める。

珠玉の教材内容を、具体的に作業を通してお話し致します。



## 閉会行事

16:20～16:30